

# まちセンおおだ

No.223

発行 田  
まちづくりセンター  
(TEL82-6240)  
印刷 印刷  
(株)急行印刷  
(TEL82-9595)

## 第37回 『まちセンおおだまつり』

お菓子などの販売コーナーが開かれ、多くの来場者が目当ての品物を買



3月14日(日)、市民センター・市民会館を会場に第37回まちセンおおだまつりが開催されました。当日は、天候にも恵まれ400人近くの方がご来場下さいました。昨年は、新型コロナウイルス感染症防止の為、中止となりましたが、今年は感染症防止対策を講じ会場下さる皆さまに協力頂いたうえで、無事開催することができました。市民センター1Fの玄関口では、福祉ネットワーク「にじ」による手作り雑貨や

求め賑わいました。また1Fロビーでは「大田J.O.いんつ♪」の缶バッヂづくりが行われました。市民会館1F中ホールでは、「大畑音楽教室」切り絵サークルたんぼぼによる体験教室や、女性ボランティアによる喫茶コーナーが開かれ、展示ホールでの「大田J.O.いんつ♪」学生ボランティア「昔のあそびコーナー」では子供たちが輪投げや大豆運びゲームなどを楽しみました。

同会館2Fで開かれた小学校展や定期利用団体の皆さんの作品展には多数出品があり、朝から多くの方が観覧されました。市民センター3F「あそびの広場」では、「大田市レクリエーション協会」が中心となり学生ボランティアと共に凧づくり、カラ、モルックなどの子供向けの遊びを行いました。新しく取組んだ「絵本のひろば」では、学生ボランティアの中学生が子供たちに絵本の読み語りを行い、大変好評なコーナーになりました。

午後からはジュニアミュージカル

「風花」による体験教室が行われ、小学生以下限定のスタンプリーでは館内を回りスタンプを集めた子供たちは、景品を受け取りました。今回のまちセンまつりでは、大田高校の地域探求学習の一環として2年生の地域づくり班が中心となりボランティア募集のチラシづくりから当日の運営までお手伝いいただき、学生目線のアイデアを盛り込みながら募集を行い、当日は過去最高の27名のボランティアの参加がありました。

平素より、まちセンを利用される皆さんの活動発表の場として、また、学生の皆さんにとっては地域との交流の場として、今回のまちセンおおだまつりには多くの方に携わっていただきました。ご来場くださった皆さまを含めありがとうございます。

### 職員紹介



大田まちづくりセンター開館時より、12年間務めた八束義夫(センター長)が退任し、新しく原敏彦(センター長)が着任いたしました。まちセンの私たち4人は、心と力をつなげて頑張ります。皆様方のご支援何とぞよろしくお願い申し上げます。

- ★小林 美鈴 (右より)
- ★金田 彰 (1日職員)
- ★原 敏彦 (1日職員)
- ★三谷 信介 (センター長)
- ★三谷 信介 (半日職員)

### 夕焼小焼

▼4月は桜の季節。そこでサクラについて調べてみました▼バラ科サクラ亜科サクラ属落葉広葉樹の総和で一般的に春に花を咲かせます▼桜は万葉集や古今和歌集にも詠まれていたほど古くから愛された花です▼桜といえば日本をイメージする人が多いほど今や世界でも有名になりましたが、実は北半球の温帯地域に広く分布している花が美しい種類や、実を収穫する種類、常緑の種類など様々な桜があります▼日本の桜は10種類を基本とし、変種を合わせると100種類以上自生しています▼一種咲きや華やかな八重咲き、枝垂れ咲きなど、品種によって多様な咲き姿や色合いを楽しむことができます▼日本でみられる代表的な桜は「ソメイヨシノ」といい、日本の桜の80パーセントを占めています▼日本固有の桜で江戸末期、明治初期頃から栽培されていて花弁は5枚。咲き始めは淡い赤色で満開になると白色に近い色になります▼古代の桜は御神木として大事にされ、開花はその年の作柄を教えてくれるものとして、人々は豊作を占うために花見をしてきました▼大田でも桜の季節には三瓶川沿いの桜並木が夜になるとライトアップされます▼みなさんは見に行かれましたか？

(美)

# 大田町民見協だより

大田町社会福祉協議会

## コロナ禍でのつながり

新型コロナウイルスは収まりを見せず、変異株という変化したものが新たに世界中に広がっています。日本においては大阪をはじめ大都市域で第4波となり、それも感染力の強い変異株ウィルスの広がりが出てきています。

島根県では大田市を含めて291人(4月8日現在)の感染者ですが、他府県と比べると少なく、死者は出ていないものの、気を緩めず感染予防を徹底しなくてはならない状況にあります。

私たちは、3密を避け、マスク着用、手洗い消毒、部屋の換気に努めてきました。スーパーでの買い物や外出するときのマスク着用は昨年の早い時期から浸透しました。これからも正しく恐れて対応する、これまでもやってきたことをしっかりとやり続けることが大切です。

コロナ禍の大都市で奮闘している社会福祉協議会のコミュニティソーシャルワーカーさんが、深夜のテレビで「命を助けることが福祉の原点

と語った言葉が深く心に残りました。私の命、あなたの命を助ける、お互いにかけてがえのない命という思いでこの事態に向き合うことを教えられました。

顔を合わせ、話し、笑い、つながり、学び、共働り、明日の希望をもちたい。私たちの命は人との関係性に生かされてもらっています。その関係性がコロナ禍で制約を受けています。

第一線を退いた高齢者は外に出かける機会が少なくなるため、各自自治会では高齢者が集うサロン活動が行われています。しかし、コロナ禍で集うことが難しい状況となりました。サロンの回数を少なくしたり、休会にしているところもあります。大田町は感染防止の上で工夫して実施されています。今は、感染を避けるため、制約はやむをえません。この状態が継続するわけではないと思いい、知恵を集めてつながりあうことを大事にしてできることをやってみましょう。

大田町社会福祉協議会は今後サロン活動を助成し、応援していきます。

## 大田町民見協だより ④0

大田町民生委員・児童委員協議会

### 1年をふりかえって

雪見地区担当

八木 瑞枝

大田町民生委員・児童委員として活動の一步を踏み出して1年4カ月が過ぎました。

最初は前の民生委員の方と一緒に引継ぎのあいさつに回りました。みなさんにどのようなお世話ができるのか不安でいっぱいでした。毎月の定例会や研修会などに出席することでどんなことを求められているのか少しずつ理解できるようになりました。

ところが新型コロナウイルスが発生したことにより、感染防止対策のため、毎年恒例になっていた高齢者への「ふれあい弁当」配食も直前になって中止、その他の行事も中止や延期となってしまいました。

3つの密の回避、マスク着用、人と人との距離の確保、手洗いなど手指衛生をと、今までと違った人との接し方が求められるようになりました。そこで、わたしにできることは……と考えて、登校時に西行堂の前で見守り活動することにしました。子どもたちが安全で安心して学校に行けるように思っています。

でした。それが子どもたちのためだけでなく子どもたちから自分に元気をもたらすことになりました。

また、毎月訪問している中で少しずつ相談されたりするようになってきました。

Aさんから買い物に行くのが大変になったと相談を受けました。移動販売車「とくし丸」に近くまで来てもらえないかなと思いい連絡をしたところ、来てもらうことになりました。よかったです。

Bさんからは住居のことで相談を受け、自分では対処の仕方がわからなかったので大田町民生児童委員協議会の役員さんに話をし、結果行政、社協、Bさんと一緒に相談することができます。今ではうまく事が運んでいます。

訪問しているうちに「いつも気にかけてもろうておおきに」といわれ、この言葉にはげまされこれからはがんばっていきたいと思います。ご協力をどうかよろしくおねがいします。



第37回

## まちセンおおだまつり

写真で  
紹介

ジュニアミュージカル 風花さん



体験教室「切り絵」たんぽぽさん



体験教室「ギター」大畑音楽教室さん



2F 小学校展「スタンプラリー」



2F 作品展



2F 作品展



2F 小学校展



3F 絵本のひろば 学生ボランティアさん



1F 昔のあそび 大田Jいんづ&amp;学生ボランティアさん

## 大田まちセンのボランティアに参加して

山口大学人文学部 沖野 行孝

2月末から3月の中旬の間に、私は4回のボランティアに参加しました。ボランティアに参加した理由は、地域密着型学習や、まちづくりセンターの役割を知ってみたいからです。恥ずかしながら、私は高校卒業後に地元である大田市を離れるまで、ボランティアに参加したことがなく、まちづくりセンターの役割を全く知りませんでした。しかし今回ボランティアに参加したことによって、まちづくりセンターの活動や役割などについて知ることができ、島根県で推奨されている地域密着型学習にはまちづくりセンターの存在は不可欠であることに気づきました。

今回のボランティアでは、大学では学ぶことができないようなことを学ぶことがあり、とても実りあるものだったと思います。これからも積極的に参加していきたいです。



3月1日(月) 大田高校OBの「沖野行孝さん(山口大学3年生)」がボランティア活動の一環として、市民センター3Fにある掲示板づくりや、まちセンおおだまつり当日のお手伝いをしてくださいました。今回の活動についての感想をいただいたので、掲載させていただきます。また、沖野さんは5月より教育実習生として大田高校へ1か月間在任されます。皆さまどうぞよろしくお願い致します。



# 大田まちづくりセンター 各種講座案内



講座名	内 容	参加対象・人員	開 催 予 定	時 間
子ども手芸教室	作品作りを通じて手作りの楽しさを味わいます	小学生 30名 材料費 1,000円	6月から、年16回 土曜日 令和3年度 募集10名	午前10時～ 午前11時30分迄
俳句教室	初心者入門コース	一般 10名	5月から3月迄 原則、毎月第3金曜日	午後1時30分～ 午後3時30分迄
クラフトテープ 手芸教室	初心者入門コース	一般 10名 参加費 1,000円 要材料費	6月から、計6回 原則、毎月第2・4火曜日	午前10時～ 午後12時迄
	経験者コース 四つだたみ編みに挑戦してみよう	一般 10名 参加費 1,000円 要材料費	6月から12月迄 原則、毎月第1・3木曜日	午後1時30分～ 午後3時30分迄
陶芸教室	陶芸の楽しさと仲間づくり	一般 10名 参加費 1,000円 要材料費	5月から、毎週水曜日 (10回)	午前10時～ 午後12時迄
古典文学講座	『蜻蛉日記』を楽しく学ぶ	一般 15名 要資料代	6月から、毎週火曜日 (10回)	午後7時～ 午後8時30分迄

- \* 各教室ともに、定員になり次第、締め切らせていただきます。
- \* 希望者が少ない時は、取りやめる場合があります。
- \* 開催場所は、大田市民センターです。

お問い合わせ・申し込み先は、  
大田まちづくりセンターまで ☎82-6240

## 「市民センターの利用について」



- ◇ 2階「多目的室」「工作室」、3階「集会室」「会議室」「研修室」「和室」「調理室」を利用される場合は、事前に **大田まちづくりセンター**へ予約してください。(☎82-6240)
- ◇ 1階「和室」「機能訓練室」、4階「軽運動場」を利用される場合は、**大田市社会福祉協議会**へ予約してください。(☎82-0091)

## 【センター使用料の改定】

3階集会室の使用料が変わりました  
(3年4月1日から4年3月31日まで)

(現行) 使用料 275円/1h  
冷暖房費 55円/1h



(改定) 使用料 297円/1h  
冷暖房費 59円/1h

## ◆ 5月～6月の主な行事 ◆

### 5 月

3(月)～5(水) 休館日  
14(金) 俳句教室  
19(水) 大田町広報配布日  
19・26(水) 陶芸教室  
20(木) クラフト教室(経験者)  
23(日) 三瓶川美化活動(雨天中止)  
30(日) 全国植樹祭

### 6 月

1・8・15・22・29(火) 古典文学講座  
2・9・16・23・30(水) 陶芸教室  
3・17(木) クラフト教室(経験者)  
5・19(土) 子ども手芸教室  
8・22(火) クラフト教室(初心者)  
16(水) 大田町広報配布日  
18(金) 俳句教室

